

授業科目 基礎看護技術演習Ⅱ

【 担当教員名 】		対象学年	2	対象学科	看護	
長谷川 隆雄 他		開講時期	前期	必修・選択	必修	
		単位数	1	時間数	30	
【概要・一般目標：GI0】 人々の健康を促進するために必要な援助方法を理解し、診療に伴う看護技術の基本を修得する。						
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 診療における看護の役割について説明できる。 2. 感染を防ぐ看護技術の理論的な根拠について説明できる。 3. 滅菌物の取り扱いに必要な看護技術を修得できる。 4. 呼吸を整える看護技術の理論的な根拠について説明できる。 5. 吸入と口鼻腔吸引に必要な看護技術を修得できる。 6. 与薬に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。 7. 筋肉内注射に必要な看護技術を修得できる。 8. 点滴の準備に必要な看護技術を修得できる。 9. 検査に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。 10. 採血に必要な看護技術を修得できる。 11. 排泄障害に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。 12. 導尿に必要な看護技術を修得できる。						
回数	授業計画・学習の主題				SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	診療に伴う看護技術				1	講義（長谷川隆雄他）
	感染を防ぐ看護技術				2	
2	滅菌物を取り扱う看護技術				3	演習（基礎看護学全教員）
3	呼吸を整える看護技術				4	講義（長谷川隆雄他）
4-5	吸入と口鼻腔内吸引の看護技術				5	演習（基礎看護学全教員）
6	与薬に伴う看護技術				6	講義（長谷川隆雄他）
7-8	筋肉内注射の看護技術				7	演習（基礎看護学全教員）
9	点滴準備の看護技術				8	演習（基礎看護学全教員）
10	検査に伴う看護技術				9	講義（長谷川隆雄他）
11-12	採血の看護技術				10	演習（基礎看護学全教員）
13	排泄障害に伴う看護技術				11	講義（長谷川隆雄他）
14-15	一時的導尿の看護技術				12	演習（基礎看護学全教員）
【 使用図書 】		<書名>		<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ		藤崎郁	医学書院	2009・2,900円＋税
		基礎看護学(3) 基礎看護技術Ⅱ		深井喜代子編	メヂカルフレンド	2007・3,400円＋税
参考書		実践へのフィードバックで活かす ケア技術のエビデンス		深井喜代子監	へるす出版	2006・4,200円＋税
		写真でわかる 基礎看護技術 1		村上美好	インターメディカ	2005・2,500円＋税
その他の資料		配布資料				
【 評価方法 】 出席状況、演習内容に基づいた課題：10％ 期末試験：90％			【 履修上の留意点 】 ・演習で各基礎看護技術を修得するためには、事前学習を十分に行うことが大切である。 ・演習に際しては、ユニホームを着用し、それにふさわしい身だしなみにすること。			